

# オーダーメイド型による指導員研修について

**研修受講機会の拡充と施設の一体的な職業訓練実施上の課題解決**に向けて、都道府県及び機構施設からの要請に基づき、職業大と研修計画（研修カリキュラムや研修日程等）を検討の上、現地に職業大から講師が赴いて行う研修です。  
※研修実施の流れは「オーダーメイド型研修モデルカリキュラム集」の後ろページをご覧ください。

## 1 受講対象者

- ☞ 職業訓練において訓練指導を担当している方又は担当しようとする方
- ☞ 職業訓練指導員免許を取得している方
- ☞ 訓練生の就職指導・支援を担当している方
- ☞ その他都道府県担当者や機構能力開発施設長が受講を指示した職業訓練に携わる職員（聴講となる場合があります。）
- ☞ 認定職業訓練施設、委託訓練及び求職者支援訓練実施機関の指導者及び業務上受講が必要な方 等

## 2 開催要件

- ☞ 最少開催人数は、原則として**10名**です。（人数の確保が難しい場合は、別途ご相談ください。）
- ☞ 事前又は事後課題に取り組むことにより、**集合研修（オンラインを含む）を総訓練時間の20%以上（＝最低3時間）で実施する通信活用型**での実施も可能です。対応可能なコースについては、お気軽にご相談ください。詳細については2～3ページをご覧ください。
- ☞ 研修日程は連続日を原則としますが、業務の都合に応じた日程の調整には応じますのでご相談ください。

## 3 研修会場の準備及び経費等

- ☞ 研修会場、使用機器（プロジェクタ、PC、白板等）、研修環境及び備品については、開催会場でご準備をお願いします。
- ☞ 研修に係る経費は、職業大が負担（テキストや受講生の旅費等を除く。）しますので、受講料は無料です。ただし、民間教育訓練機関等の方は、受講料として実費分のご負担（概ね6千円程度）をお願いします。

# Web等の双方向通信（オンライン）を活用した研修について

Web等の双方向通信（以下「オンライン」）研修が可能となりました。ただし、訓練効果等の観点からコース毎に講師と調整が必要な場合があります。

## 1 オンライン研修

- ☞ 対面型で実施していた研修⇒全日程又は一部の日程をライブ形式で実施可能
- ☞ 通信活用型で実施していた研修⇒通信型研修(課題又はオンデマンド)+ライブ形式の集合研修で実施可能

## 2 対象コース

- ☞ 指導方法及び専門学科のうち、対面授業に相当する訓練効果(質の担保)が認められると講師が判断したコース

## 3 訓練時間

- ☞ 12時間以上
- ☞ 通信活用型の集合研修をライブ形式で行う場合、集合研修の時間を総訓練時間の20%以上とすることができます。

## 用語の説明

- ☞ オンライン : Web等の双方向通信を活用した研修の総称。
- ☞ オンデマンド : 通信活用研修の課題方式の一種。Webに課題を保管しており、いつでも繰り返し受講できます。
- ☞ ライブ : 対面の代わりにWeb等を活用した集合研修。移動を伴わずに研修を受講できます。

# 通信活用研修の概要（詳細は個別コース毎に調整）

通信活用研修は、メール等の通信手段による通信研修と集合研修（オンライン含む）を組み合わせた研修の仕組みです。

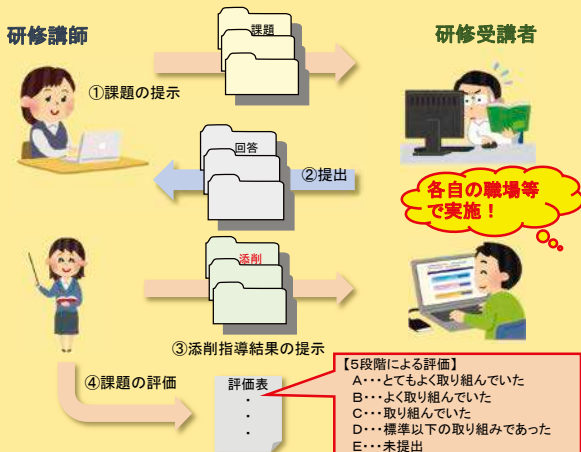
事前又は事後に課題取組む形式により、集合研修を**総訓練時間の20%以上**として研修の設定ができます。ただし、全ての研修が通信活用に対応しているわけではありません。

## 通信研修

課題：概ね3題以上

時間：総訓練時間－集合研修時間

メール等の通信手段により集合研修の事前又は事後に課題を実施



※1 課題や添削指導結果は、職業大研修課から都道府県能開主管課、機構施設等を回付して研修受講者の元に届けられます。

※2 通信活用研修を希望される場合は、事前課題への取り組み期間を見込んだ無理のない日程で研修を予定してください。

## 集合研修（オンライン含む。）

研修時間：総訓練時間の20%以上

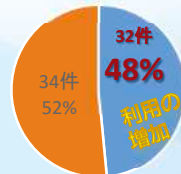
研修会場に集合又はオンラインにより参加し、研修講師から課題のねらいと目的、解説等の外、カリキュラムに沿ったテーマの研修を受講



※研修の到達目標を達成するため集合研修と課題の設定時期や時間を効果的に組み合わせて実施します。

※修了要件：個別通信研修C判定以上、かつ、集合研修全時間出席

## 通信活用研修（1日研修）の活用状況



ご相談に応じて様々なコースに対応しています。

※左のグラフは、令和4年8月末現在のオーダーメイド型研修の都道府県・機構施設からの申込件数を参考に作成しています。

# 特別な配慮を要する受講者対応に向けた研修マップ

精神・発達障害  
関係コース

障害者の就労支援の基礎知識  
(各障害分野共通基礎)

精神・発達障害分野

《3分野》

身体障害  
分野

知的障害  
分野

高次脳・内部疾患障害  
分野

※「障害者の就労支援の基礎知識」は、4つの分野  
(身体障害、知的障害、精神・発達障害、高次脳・  
内部疾患障害)の特性等の基礎を理解するための研  
修コースです。  
なお、《3分野》に特化した研修実施をご希望され  
る場合は、お気軽に職業大研修課にお問い合わせくだ  
さい。

精神・発達障害分野に特化した研修コース

一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した  
支援と対応(理解と接し方編)

一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮し  
た支援と対応(訓練の支援と支援体制編)

一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支  
援と対応(メンタルの支援編)

一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮し  
た支援と対応(就職活動の支援編)

※上記4コースについては、『障害校の指導員』向けに特化した  
コースをご用意しています!

合理的配慮の理解と実践

精神・発達障害者の支援のためのSST

精神障害者のための職業能力開発

## おすすめのオーダーメイド型研修

順位	過去5年間でご依頼の多いオーダーメイド型研修 ベスト10 ※令和元年度～5年度8月末現在	件数
1	訓練教材作成等における著作権（トラブル防止のための勘所）	40
2	オンライン訓練のための動画作成と配信技術	29
3	オンライン訓練の設計と運用のポイント	28
4	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応（理解と接し方編） ※通信活用研修では「特別な配慮が必要な訓練受講者の理解と接し方」の名称	22
5	精神障害者・発達障害者を対象とした訓練指導	18
6	職業訓練指導員のための就職支援テクニック	17
7	訓練生や学生のモチベーションアップのための承認スキルの向上	16
8	学卒者/離職者訓練の効果的な募集活動	14
9	広報における魅力的なチラシと人の集め方	13
9	訓練現場のトラブルやクレーム等に備えるリスクマネジメント	13

### 新たにご用意した研修

NEW

#### 新規コース

生成系AIを活用した訓練サービス  
業務の効率化とポイント

見える化の基本と実践

レジリエンス力を高める研修

品質管理の基礎

施設の魅力を発信するための  
マーケティング戦略  
-リサーチ力・提案力・発信力-

精神・発達障害と似た行動をする  
訓練生への支援Ⅰ（理解と接し方）

生産管理の問題解決

### 注目の研修

#### 最近の新設コースで、開講実績あり

ストレスマネジメントとエニアグラムタイプ

訓練生のための生産性向上手法による  
問題解決テクニック

指導員のためのセルフ・リーダー  
シップ～自己改革の勇気づけ～

オンラインによる面接技法

業務改善のための  
コミュニケーション力向上研修

訓練生の生活指導

職業訓練DX化のための  
データ活用

ワークライフバランス研修（仕事を  
効率的に行うヒントを身につける）

※表中の値は、令和元年度～5年度オーダーメイド型研修の都道府県・機構施設からの申込件数を参考に作成しています。